

## 福武教育文化振興財団への画像報告のお知らせ

昨令和4年度(2022)に備中とと道トレイル推進協議会では福武教育文化振興財団の助成を受けて「とと道ガイドブック」を作成しました。

その結果の成果報告はこの4月末が提出期限となりますが、本日添付の画像報告を提出しました。

今年度は初めての試みとして、とと道沿道の自治体、学校の皆さんにとと道についての説明をした上でその一部を歩くというトライアルを実施しました。

その画像報告内容を皆様にお知らせします。

吹屋の麓の成羽小学校の6年生21名は卒業記念に家庭科の時間を使ってとと道を歩きました。皆さんは自分の故郷に南北を結ぶこんな道があったことを知って興味を持たれていました。地元の思い出の一つになったのでしょうか。

沿道の自治会でも歩いてみたいとの希望があり、矢掛の中川公民館がメンバーを募集28名が参加されました。昼食前後までに終るということで宇内＝布東の核心部を歩きましたが健康増進に良いとの評価が出されました。

協議会では今後は協議会のメンバーにガイドとして参加いただきこんな活動も拡げてゆきたいとの意見が出ています。歩けば歩くほどとと道の保存が進みます。健康増進のためにお仲間と気軽に歩く計画を立ててはいかがでしょうか。

路傍の道案内人達



1-10 右 ようすな



2-2 みきハ まつ山 なりハ道



2-5 右矢掛 左三山 高梁



2-19 右小田矢掛 左香道



2-25 右三山 成羽 吹谷



元禄10年 (1697)

2-26 右まつやま道 左なりわ道



3-13 右なりハみち 左松山



3-14 右成羽 左たい

道中 記念 or 祈念碑達



1-1 出買道中



1-6 吉浜千拓記念碑



3-4 痰咳神



3-17 舟問屋玉垣



4-6 水道記念碑



応安4年 (1371)

4-18 石田五輪塔



4-18 後谷地神碑

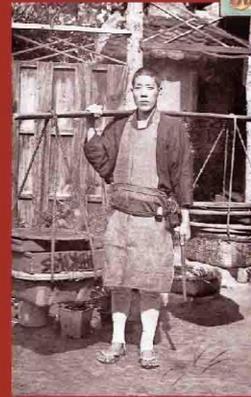
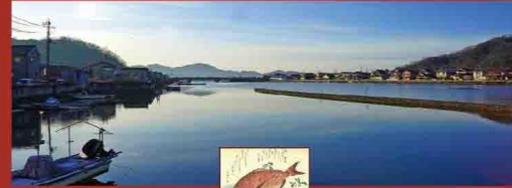


4-26 三菱商会玉垣

備中とと道トレイル推進協議会 2022. 10

# 備中とと道トレイル

笠岡—矢掛—美星—成羽—吹屋  
全60km完全ガイド



備中とと道トレイル推進協議会編集



2016年以来とと道再開発のために収集した諸資料を全てこのガイドブックに収録。歩ける人は地図を見ながら、歩けない人は解説を読みながら備中を南北に貫く往年の歩く道＝トレイルお楽しみください。



目次・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 2  
 会長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 3  
 とと道全図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 4  
 高梁、笠岡市長ご挨拶・・・・・・・・・・・・P5～6  
 「吹屋往來の賑わい」(田村 啓介 氏)・・・・・・・・P7～8  
 「とと道」物語(宮本 邦男 氏作)・・・・・・・・P9～10  
 とと道探索と推進協議会設立まで・・・・・・・・P11  
 地区別とと道主要探索概要・・・・・・・・・・・・P12  
 ①瀬戸内コースガイド(笠岡-小田川)・・・・・・・・P13～23  
 ②里山コースガイド(小田川-三山)・・・・・・・・P24～32  
 ③吉備高原コースガイド(三山-成羽)・・・・・・・・P33～39  
 ④吹屋山岳コースガイド(成羽-吹屋)・・・・・・・・P40～48  
 別冊地図の内容と使い方・・・・・・・・・・・・P49  
 会員募集案内・・・・・・・・・・・・・・P50  
 コラム目次+あとがき・・・・・・・・・・・・P51

## ヒト、備中を歩きぬく

「アフリカの草原に住んでいる動物はたくさんいるのに、ただの一度も直立二足歩行なんて進化しなかった。でも、人類は700万年前、初めて直立二足歩行を進化させた。それは、おそらく食料を手で運んで子を育てるためだった」(絶滅の人類史 NHK出版新書 更科 功著)。  
 かくて家族が誕生し、250万年前には石器を使うホモサピエンス=ヒトが現れました。ヒトは二足歩行の利点を活かして長い距離を歩き、狩猟をし、(石器で切り刻んだ)肉を食べ、その滋養で脳を進化させました。

ヒトの原点にふれた興味深い記述です。食料を求めて歩き回った結果、縦横につけられた「道」はヒトとは切っても切れない何よりの相棒となり、ヒトはこの道を歩き続けてきました。ところがその道は今ではほとんどが車が走るための道に変わりつつあります。おかげでヒトはその存在の最大の特性である直立二足歩行の舞台を失いつつあります。つまり、ヒトは700万年にわたって維持してきた自らの特徴の一部を、直近の100年にも充たない期間で放棄しつつあるとも言えるのです。

そこで突然ですが「とと道」です。明治から昭和にかけて、銅とベンガラ景気で湧く吹屋銅山での宴会用に瀬戸内海で穫れた新鮮な鱈(さわら)や鱒(ふり)を届ける60km近い道がありました。魚仲仕(うおなかせ)と呼ばれる屈強な運送人たちが40kgほどの魚を天秤棒で担いでその道を歩き、笠岡の金浦市場から駅伝方式で12時間かけて吹屋まで運んでいました。しかし、60年ほど前から輸送はヒトから車に変わり、とと道は森の中に放置され、どこに有ったかさえ分らないほどになりました。それが数年前、あるきっかけから備中の森の中で再び姿を見せることになりました。

備中各地の好事家による探索を総合した結果2019年末には全コースが一本の道としてつながり、草刈り等の整備もされ(夏はさすがに藪に埋もれます)、ヒトが再び歩けるようになりました。出発点の笠岡とゴールの吹屋が日本遺産に選ばれたこともあり、今では2つの日本遺産を繋ぐ唯一の歩く道としての貌も持つことになりました。獲物を手に持って家族の待つ巣へ向かうヒトとしての自らの原点の確認の場としても絶好の舞台です。

このガイドブックでは道中の様々な歴史や文化のみどころもできる限り紹介しました。歩きながら、読みながら、備中の歴史と文化を満喫しつつ、改めてヒトの相棒=道に親しみ、備中の背骨を歩きぬいてください。

備中とと道とレイル推進協議会  
 会長 小見山 節夫

## 備中とと道トレイルMAP(別冊)目次

1. 笠岡・金浦→笠岡・甲弩  
 拡大図4枚
2. 矢掛・小田→美星・毛野  
 拡大図3枚
3. 美星・毛野→成羽・上日名/保木上橋  
 拡大図3枚
4. 成羽・上日名→成羽 拡大図3枚  
 成羽→吹屋 拡大図2枚



P 3

平均年齢75歳の  
 メンバーが半年かけて  
 この本を作りました



成羽小学校 6年生  
21名・卒業記念  
家庭科授業  
とと道トレイル  
トライアルウォーク  
2023. 3. 10

3.7とと道事前出前講座 by 協議会



窓坂の黒い穴

成羽小学校校舎

小学校から歩いて1時間半。窓坂を目指す。



学校からも見える窓坂  
の入口の黒い穴で万歳

成羽の市街を見下ろす場所ではいポーズ



堂の下の辻堂。「かつてここは福地への峠越え  
の場所で駄菓子屋や小魚屋が並ぶ小市場だっ  
た」と長老が解説。





矢掛中川公民館  
とと道トレイル  
昼前健康ウォーク  
28名参加  
2023.2.26  
朝9時～昼1時



出発から1時間で吉備高原の登りにかかる

朝8時半出発前に公民館でトレイル事前学習



美星の高原の上にある昔のロータリー  
四方位を示す石の道標が有る

幻の県道が無事登りきりルート判明の  
きっかけとなった二股道標へ



ホモサピエンスの特技は  
直立二足歩行  
実践するにはとと道  
トレイルがピッタリ。  
歩いて健康増進！



これまで合計566名の方が公開ウォークに参加されました